

講義名	司法福祉論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山内 稔		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他		
履修開始年次	2年生	単位数	1
		講義コード	73017

### 主題と概要

少年法と児童福祉法に基づき、少年非行事件の対応について司法機能と福祉機能がどのように展開されているか学習し、司法福祉の課題について考察する。  
 少年非行に携わる専門職員について、資格要件、職種、仕事内容について、現場からの報告をまじえて考察する。  
 少年非行は近年、低年齢化・凶悪化しているのか。少年非行への厳罰化は非行の防止となるのか。また、少年犯罪の福祉優先の原則は守られるべきか、被害者支援はどうあるべきか、などの種々の課題に、少年非行の現状と各種データから議論する。  
 児童虐待、発達障害、知的障害などと犯罪加害者の生育歴や心理面、対人関係について考えるとともに、犯罪被害者支援の立場から司法福祉の課題について検討する。  
 また、障がい者の犯罪についても累犯障がい者の実態を理解し、生活支援の面から犯罪障がい者の支援を考える。

### 到達目標

家庭裁判所、児童相談所、少年院、児童自立支援施設などの役割と機能について理解する  
 児童虐待、発達障がい、知的障がいと非行との関係について理解する  
 社会的自立に向けた更生保護、ソーシャルワーク機能について理解する  
 厳罰化と修復的司法の流れを理解し、ロールレタリングを学ぶ  
 家庭裁判所、児童相談所を中心とした非行少年支援のネットワークと課題について理解する  
 家庭裁判所、少年院、児童相談所、児童自立支援施設等の専門職と仕事内容、資格取得について学ぶ  
 障がい者の犯罪について、累犯障がい者の実態を考える 家庭裁判所、児童相談所、少年院、児童自立支援施設などの役割と機能について理解する

### 提出課題

授業の中で説明する

### 評価の基準

授業中のディスカッション・発表などによる平常点（50％）とレポートの成績（50％）による。

### 履修にあたっての注意・助言他

少年非行、犯罪などの事象だけでなく、その背景にある子どもと家族の機能、学校教育、青少年心理、社会的自立など広く現代の家族問題や青少年問題について関心をもって参加してほしい。  
 最近の少年の非行や犯罪などについて調べてください。また、子供を取り巻く社会状況、例えば子供の貧困、児童虐待などと子ども自身の側面、発達障害や自傷行為など広く現代の家族問題や青少年問題について関心をもって参加してほしい。  
 将来子どもに関係する職業につきたいと考える人はぜひ参加してください。  
 子どもや障がい者の非行、犯罪をみなさんの身近な問題として活発な議論を期待します

### 教科書


### プリント資料及び参考文献

レジュメ及び資料を配布します。  
 「参考文献」 「司法福祉」 司法福祉学会編 生活書院2012 「少年非行－青少年の問題行動を考える－」 藤岡淳子他 星和書店2004 「まなざしの地獄」 見田宗介 河出書房新社2008

### 授業計画

オリエンテーション  
 「司法福祉とは何か」  
 少年非行の現状と対応  
 「少年非行は深刻化しているのか、その対応はいかにあるべきか」ディスカッションを行う  
 司法福祉の現場から考える課題と対応  
 「少年院と児童自立支援施設－処遇と専門性」  
 少年非行対応の中核的機関：家庭裁判所と児童相談所－その役割と機能  
 「現場の報告から非行少年への支援に必要なことは何か」ディスカッションを行う  
 児童虐待、発達障がいと少年非行の関係性について  
 「少年非行の背景にある家族問題、性格行動」について考える  
 少年への支援「更生保護とソーシャルワーク」  
 「少年非行の背景にあるもの、更生や治療をどのように進めるのか」ディスカッションを行う  
 知的障がいと犯罪  
 「知的障がいの理解を通して司法を考える」  
 まとめ 子どもを中心とした支援について  
 「少年非行・犯罪と自らの関わり」ディスカッションを行う

### 予習・復習

予習：子どもをめぐる諸問題、例えば子どもの貧困、成人年齢の引き下げ、未成年による犯罪などを通して、こどもと大人の違いについて考えをまとめておくこと  
 復習：授業で学習した課題について、自らの意見をまとめて発表できるようにすること

### 備考
